広報
やまこし
1987
9月
第231号
■発行／山古志村役場　947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461　☎(0258)59－2330㈹　■編集／総務課　■印刷／大川印刷株式会社　■9月1日発行

◀ お盆に子供と孫たちから金婚式をして祝ってもらいましたと渡辺悌三さん

▶ 夫婦そろって、五十年健康でいられるということは幸せですねと星野多助さん

祝・金婚

▲「50年」といっても、考えてみると「いっとき」ですねと藤井信一さん
▼ 今年は「金婚」と「喜寿」がいっしょになった田中五郎さん

▲ 結婚した翌年、召集されて戦争に行ったという佐藤与三郎さん

▼ まだまだお若い長谷川久男さんご夫婦

結婚して二十五年で銀婚、五十年で金婚として祝われます。米寿（八十八歳）、喜寿（七十七歳）などは一人でも祝ってもらうことができますが、金婚は夫婦そろっていなければ祝ってもらうことができません。

今年村内で金婚を迎えられるご夫婦は、六夫婦です。みなさんお元気で、九月十五日竹沢小学校で行われる「敬老会」の席で、お祝いの記念品等が贈られます。

金婚、おめでとうございます。

▣今年度金婚を迎えられるご夫婦
・佐藤与三郎・ヨシエ（種苧原）
・長谷川久男・ミヨ（種苧原）
・田中五郎・ハナ（虫亀）
・星野多助・スイ（竹沢）
・渡辺悌三・シズ（竹沢）
・藤井信一・キヨ（楢木）

（敬称略）

人口の動き
（62.7.31現在）
■人口 3,220人（－4）　男 1,618・女 1,602　■世帯数 844（－3）
■7月中のうごき　□出生 2　□死亡 4　□転入 3　□転出 5

お知らせ

消防吏員募集

山古志村の常備消防業務について、昭和六十三年度から「小千谷市・川口町衛生消防組合」に加入予定のため、昭和六十三年四月一日に採用する消防吏員を次のとおり募集します。

一、応募資格
①小千谷市、川口町または山古志村に住所を有する者（有することとなる者を含む）
②性別　男子
③年齢　二十三歳未満（昭和四十年四月二日以後に生まれた者）
④学歴　高等学校卒業以上（卒業見込の者）
⑤資格　普通自動車運転免許を有すること（高等学校新卒者については、採用後六カ月以内に取得すること）
⑥身体の基準（おおむね）身長一六〇センチメートル以上、体重五〇キログラム以上。視力、両眼とも裸眼で〇・八以上。

二、採用予定人員　三人

三、試験の方法、日時及び会場
・第一次試験　十月四日（日）小千谷市役所
試験の方法　教養試験、消防吏員適応性検査及び作文
・第二次試験　第一次試験の合格通知を行う際通知する。
試験の方法　面接試験及び身体検査

四、受付期間　昭和六十二年九月十日から二十四日まで。

五、受験手続及び申込方法
受付期間中に山古志村役場総務課に申し込んでください。募集要綱及び受験申込用紙は、役場総務課に用意してあります。

※不明な点は、役場総務課庶務係にお問い合わせください。

来年4月から小千谷市・川口町衛生消防組合加入
可燃ごみ・し尿収集業者募集

来年四月から、可燃ごみ・し尿の収集を行う計画ですが、その収集業者を募集します。

この収集は、来年度から小千谷市川口町衛生消防組合に加入することによって行われるものです。常備消防体制ができるとともに、ごみ・し尿についても本格的に収集が開始されます。（ただし、不燃ごみは現行どおり収集）

そこで、収集作業を村内の人に委託したいと思います。個人、会社等は問いませんので、ご応募ください。

・応募期限　九月十九日
・応募先　役場住民課
※詳しいことは住民課へご相談ください。

特産品観光開発のアイデア募集

山古志村商工会では、地域経済の活性化を求め、自然・文化を密着させた「ふるさとづくり」で、若者の住める魅力ある地域をつくるため、今年から活性化推進事業（村おこし事業）を行います。

この事業の一つとして、山古志村にもっともふさわしい特産品開発・観光開発のアイデアを、広く村民のみなさまからも募集します。積極的・画期的なアイデアでご応募ください。

一、農林水産物の加工や未利用資源、伝統的技術を活用して、新たな特産品を作るにはどんなものがよいか。

二、各地区で、観光資源となるものはないか。観光客をより多く誘致するには、新しくどんなことをすればよいか。

三、その他、教育・文化・スポーツなどについてのアイデア。また、山古志村のイメージアップにつながるもの。

※一人で何件でもご応募ください。

用紙、記載方法等は自由です。

応募締切は、九月二十日。

応募先は、山古志村商工会・むらおこし実行委員会（電話五九－二一五一）へどうぞ。

応募者全員に、粗品を進呈いたします。

63年用家計簿

昭和六十三年用《明るい生活の家計簿》の申し込みを受け付けます。生活改善グループなどが使用し、好評を得ているものです。

▽申込期限―九月末日
▽申込先―役場総務課（電話可）
▽価格―一冊二百六十円（申込数により変わる場合があります）

9月の納税・保険料

★国民健康保険料
★国民年金保険料
★保育料（9月分）

9月15日 敬老の日

竹沢小学校で 敬老会

毎年九月十五日の「敬老の日」に行われている「敬老会」。今年は竹沢小学校で行われます。

今年の参加対象者(七十歳以上)は四百五十八人。村内全地区からマイクロバスで送迎し、参加していただきます。

長年のご苦労に感謝をこめて、「いつまでも、お元気で。

次は卒寿まで

◆今年度米寿を迎えられる方

・青木キヌ　(池谷　誠一方)
・長島ヨト　(虫亀辰太郎方)
・坂牧ヨキ　(種苧原勇雄方)
・長島マン　(虫亀　政一方)
・坂牧ヨト　(種苧原晟治方)
・五十嵐梅次(虫亀　弘　方)

いつまでもお元気で、敬いといたわりを忘れずに

山古志村長寿番付(上位30人、敬称略)

順位	氏名	生年月日(年齢)	地区	世帯主
1	西原ツノ	明治24.7.26(96)	虫亀	熊太郎
2	佐藤シカ	26.5.5(94)	〃	タケ
3	浅染ムメ	26.9.26(93)	木篭	伊吉
4	五十嵐イシ	27.3.14(93)	池谷	利雄
5	長島多郎吉	28.8.22(92)	虫亀	辰太郎
6	坂牧トメ	28.12.21(91)	種苧原	亨
7	川上キシ	29.2.22(91)	下村	孫治
8	星野キヨ	29.11.11(90)	間内平	栄一郎
9	小幡タキ	30.1.17(90)	種苧原	福松
10	金内ツセ	30.9.13(89)	〃	伝太郎
11	斉藤伍郎作	30.11.25(89)	池谷	倉吉
12	酒井ヒロ	31.1.7(89)	虫亀	彦四郎
13	八久保イマ	31.1.10(89)	油夫	利営
14	坂牧ソノ	31.3.15(89)	種苧原	駒夫
15	五十嵐イノ	31.7.12(89)	虫亀	俊一
16	坂牧源太郎	31.12.10(88)	種苧原	正憲
17	青木キヌ	32.9.15(87)	池谷	誠一
18	長島ヨト	32.9.20(87)	虫亀	辰太郎
19	坂牧ヨキ	32.11.16(87)	種苧原	勇雄
20	長島マン	32.11.22(87)	虫亀	政一
21	坂牧ヨト	32.12.31(87)	種苧原	晟治
22	五十嵐梅次	33.3.10(87)	虫亀	弘
23	坂牧ヨシ	33.8.25(87)	種苧原	善雄
24	五十嵐ヨセ	33.9.30(86)	虫亀	与作
25	川上キヨ	34.1.12(86)	種苧原	清治
26	五十嵐ソヤ	34.1.15(86)	梶金	加一
27	金子ツヅ	34.2.24(86)	虫亀	昭治
28	坂牧十四郎	34.3.7(86)	種苧原	義一郎
29	川上市蔵	34.5.2(86)	梶金	正吾
30	若槻湛焉	34.7.28(86)	虫亀	敬

(昭和62年9月1日現在)

▶青木キヌさん(池谷)「いつまでたっても子供(60歳以上)の心配をして」と長男の誠一さん

▶長島ヨトさん(虫亀)夫婦そろって長寿(夫多郎吉さんは92歳)

▶坂牧ヨキさん(種苧原)「最近玄関で足をくじいて」といっても、ケガをするのは元気な証拠

▶長島マンさん(虫亀)足が少し痛いそうですが、顔のツヤもよくお元気そうです。

▶坂牧ヨトさん(種苧原)いっしょうけんめい家の囲りの草取りをしておられました。

▶五十嵐梅次さん(虫亀)昨年は自分一人で、豆6俵と小豆1俵を収穫したそうです。「山に行かずにいられない」といっておられました。

次は米寿まで

◆今年度喜寿を迎えられる方

■種苧原
坂牧ミト　坂牧辰治郎
坂牧永吉　樺沢六一
坂牧ツネ　小川ミノ
坂牧マツヨ

■虫亀
五十嵐トヨ　田中五郎
五十嵐キク　五十嵐ハツ
佐藤ハナ

■竹沢
星野ナミ　小池ミナ
佐藤五郎治　小川ツネ
星野ミヨシ　小池ナカ
関ハル

■東竹沢
川上進作　関ヒサヨ
松井兼吉　松井増平
増田リツ　高野フサ

■南平
青木ナカ　青木ハツ
畔上イツ　畔上セツ
畔上信一

(敬称略)

長岡地区 平和友好祭典

種苧原スポーツ広場で開催

「第二十回長岡地区平和友好祭典」が、八月八日(土)から九日(日)にかけて種苧原スポーツ広場で行われました。

これは、長岡市と周辺市町村の青年男女が集まり、「反戦と平和を訴え、友好を深める」ための祭典で、毎年長岡地区内で行われているものです。この祭典実行委員会では、この他に長岡市内各地で七月下旬に、「長岡空襲を語る、親と子の夕べ」を七回開いています。

八月八日午後三時から、九日午後三時まで二十四時間。遅かった梅雨あけ宣言も出され、心配された雨もなく、約二百五十人の若者が参加しました。この他にも宣伝カーで種苧原地区民に参加を呼びかけたため、子供をつれた人を中心に多くの人が参加しました。

内容は、野球場内に特設ステージを作り、「バンド演奏」、「反戦平和を訴える、構成詩」、全員参加の「ウルトラクイズ」、「反戦平和大花火」等が行われ、大量に用意されたビールの効果が現われたころに、フィナーレの「ディスコタイム」で最高潮に達したようです。翌日には、地区の子供たちも参加して運動会が行われたり「平和友好祭典」は盛会に終ったようです。

実行委員の一人は、「広くて環境は良いし、照明もあるし、大変良い所だ」との感想を語っていました。「来年から、毎年ここでやったら?」には、「私たちの大きな目的は、より多くの人に参加してもらい、反戦平和を訴えること。それには、残念ながら交通の便がちょっと」とのことでした。それでも多くの人たちから、山古志村を認識してもらえたことでしょう。

▲ 種苧原の子どもたちも大勢参加しました

▼ 盛り上がったディスコタイム

――全国高校総体――

長谷川節子さん5位入賞(弓道)

八月一日から北海道で行われていた「全国高校総体」の弓道で、長谷川節子さん(長岡高校三年、種苧原長谷川新松さん方)が女子個人戦で堂々と五位に入賞しました。今年はたいへんレベルが高く激戦だったために五位でしたが、普通なら優勝の成績だったということです。

8月14日・成人式

成人 おめでとうございます

山古志村恒例の夏の成人式が、八月十四日に村民会館で行われました。対象者六十三人中、出席者は四十人。午前九時半から式典が始まり、全員で国歌斉唱の後、「みなさんが今日あるのも、両親そしてふるさとがあるから。いつまでも感謝の気持を忘れずに、自分の道を責任持って進んでほしい」との村長のあいさつがありました。

これに続き、「青年老いやすく、学なりがたし！悔いのない青春になるよう、心をひきしめ、二十一世紀を担って立つよう頑張ってほしい」と村議会議長。「今後、益々の勉強、発展を望みます」と教育委員。宮沢賢治の詩「雨ニモ負ケズ」を朗読された選挙管理委員長の来賓祝辞がありました。

そして最後に、成人を代表して小池一彦さんが、「早く社会人の仲間入りを果たし、自分を育て鍛えてくれた両親、先生、諸先輩そして地域のみなさまに、恩返しをしたい。地域・社会の発展のために力を尽す覚悟です。」と誓いの言葉を述べ、式典が終了しました。

◀誓いの言葉を述べる、小池一彦さん

この後、出席者全員が長岡の蒼柴神社を参拝し、引き続き村民会館で祝宴が開かれました。

新成人の成人式をすませた感想を聞いてみました。

・もっともっと渋くなります。　川上　直之

・私はもう二十一、もっと落ち着きたい。　青木　悟

・もっと男っぽくなります。　五十嵐　勲

・健康であれば。　高野　武

・夢に向って私は頑張る。必ずできると信じて生きてゆく。　長谷川清子

・自分で納得のゆく人間になりたい。　坂牧　歩

・いつまでも素直さを忘れずにいたい。　多田　吉江

・自分に誇りを持って生きて行きたい。　風間　千春

・いつでも自分に正直に生きたい。　星野　仁

・みんな元気で、いっしょうけんめいで！またいつか……。　青木　盛司

・一歩一歩確実に！　青木　和久

三古社会福祉大会

―山古志中学校で開催―

三島郡と古志郡の七町村で構成する、三古社会福祉協議会。この協議会主催の「第三十七回三古社会福祉大会」が七月三十一日に山古志中学校で開かれました。

目的は、人生八十年代に適応した「明るく健康で活力ある福祉の町づくり、村づくり」を目指して、地域社会の全ての人たちがボランティア活動への参加や福祉の諸問題について共に考え、理解を深め、それぞれの地域での福祉活動への主体的な参加の実現をはかる。

大会スローガンは、「村づくり、町づくり活動の拠点をつくろう」「育てようボランティアの芽、地域の和」。

大会参加者は、約三百人。来賓も県知事、県議会議長、県議会議員、県社会福祉協議会長、各町村長等多数参列されました。(代理含)

午前十時開会し、午前中は式典、意見発表等が行われ、午後からは「福祉と幸福について」と題した、西山町超願寺住職戸次義一さんの記念講演があり、午後二時三十分に閉会しました。

この大会で福祉功労者の表彰も行われ、山古志村からは四人と一団体が表彰されました。

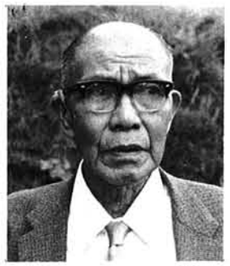
○民生児童委員として永年勤務し、特に功績顕著であったとして。

・金内友次さん（種苧原）

・関喜美枝さん（梶金）

○老人クラブ会長として、地域の奉仕活動に努力されたとして。

・長島金治さん（虫亀）



・風間友一さん（種苧原）

○長年聾学校の児童・生徒を山菜とりに招待するなど福祉活動に貢献されたとして。

・虫亀地区老人クラブ

育て、残そう 村の木ブナ 花ハギ

昨年十月に、村制施行三十周年記念の一環として、村の木「ブナ」村の花「ハギ」が制定されました。

八月から九月にかけ、小さな薄紫色の清楚な花をつけるハギ。道路沿い等に群生し、通る人の目を楽しませてくれます。

残雪の中から、春一番に鮮やかな黄緑色に芽ぶき、「白に飽き、緑に飢えた」人々に長い冬の終り・春の訪れをはっきりと目で感じさせてくれるブナ。春の山古志村を象徴する木です。

ハギは案外丈夫な草ですから、簡単に育て・増やすことができます。

しかし、ブナは木ですから、短期間に育てたり増やしたりはできません。ブナ林を伐採した跡の切り株を見ると、直径三十センチ程度の小さなものでも、樹齢四十年から五十年位です。ですから、このブナ林が再生するには、同じ年数がかかるわけです。

今、ブナは、杉と違い建築用材に使えないため価値観が低く見られ、簡単に伐採される傾向があります。それぞれが個人の所有ですから、どう処分するかは自由ですが、「村の木・ブナを伐採するときは、今一度再考をお願いします」。

ママさんバレー パパさんと対決

竹沢のママさんバレーチームがおとうさんたちのチームと試合をやりました。八月五日夜竹沢小学校で行われ「2対1」でママさんチームの勝ち。

この試合は、ママさん側が日ごろの亭主関白を力づくで巻き返そう、などとの魂胆で行ったものではありません。春からずっとママさんバレーの練習でおとうさんたち家族に迷惑をかけているので、これをねぎらうための親善試合なのです。お互いに缶ビールとジュースを持ち寄り、勝利者側がビールを飲むという約束で行われたため、ママさんたちはビールで乾杯、おとうさんたちはジュースで乾杯。楽しい親善試合だったようです。

交通事故のご相談は
お気軽にどうぞ
無料でご相談に応じております

午前9時半～午後4時40分(平日)
土曜日は正午まで(第2・第3土曜日は休みます)
◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます
◎弁護士相談日：毎週水曜日午後1時～4時

社団法人 日本損害保険協会
新潟自動車保険請求相談センター
新潟市本町通七番町1082 興亜火災新潟支店ビル5階
(新堀通り本町角) 新潟調査事務所内
☎025-225-1851(直通) 025―225―2225
電話のご相談もお受けします

―普及所から―農改コーナー

稲・よい米はよいタネから

米づくりの第一歩は「よい種子」を使うことです。来年用の種子は自家採取せず、必ず採種圃産のものを使うようにしてください。

種子更新は、なぜ大切なのでしょうか。それは――「品種特性の退化を防ぎ、多くの収量を得るため」です。自家採取の「種子」を毎年使っていると、「収量」は次第に少なくなり、米の品質も悪くなります。さらに「病害虫」特にバカ苗病に弱くなり、「検査等級」に影響します。

この原因は、品種が交配により育成されたものであるため、どうしても不良因子が分離してくるからです。これを防ぐには、系統の正しい採種圃産の「よい種子」を使うことがまず第一です。

六十三年用の追加注文は、農協で行っています。「できるだけコシヒカリ」の作付けを伸ばすようにしてください。

※種子による収量の比較試験を行うと、採種圃産種子の収量を100％とすると、二年連続自家採取種子で98％、三年連続自家採取種子で95％、五年連続自家採取種子で90％、と年々収量が少なくなります。

秋野菜の管理

秋の気配を感じるころになり、野菜もかなり育てやすくなりました。台風や雨などの気象災害に注意し、実り多い秋にしましょう。

植物の病気は、台風とか豪雨のあとなど植物の弱ったときに発病しやすくなりますので必ず防除しましょう。害虫は、薬よりも先に捕殺してそれでも手におえないときに農薬を散布するようにし、病葉は摘除しましょう。

・害虫防除方法

アオムシ、コナガ、ヨトウムシには、ODDVP乳剤千倍液、ディプテレックス千倍液、オルトラン水和剤千倍液。

・間引き方法

だいこん、にんじん、かぶの間引きは適期に行うことが大切で、遅れると発育不良の原因になります。本葉五～六枚のころ、一本立ちできるよう二回に分けて行いましょう。

葉の形の悪いもの、葉色の濃いものや病害虫に侵されているものを取り除きます。ていねいに間引いた後、株元に軽く土寄せし安定させることも大切です。

小学校 親善水泳大会

八月十一日池谷小学校プールで、村内五小学校の四年生以上が参加し、親善水泳大会が行われました。プール開きからずっと、夏休みに入ってからも連日続けてきた練習の成果は？

簡単に成績を紹介します。

※紙面の都合上タイムは省略します。名前の上の①②は、一位と二位。名前の下の㊥㊦㊤㊢㊣は、種苧原、虫亀、池谷、竹沢、東竹沢の各小学校名です。

●六年百メートル個人メドレー
男①星野司㊢②五十嵐順㊤
女①小川淳子㊥②星野久美子㊢
・六年百メートル自由形
男①五十嵐順㊤②長島一也㊦
女①星野京子㊢②酒井香代子㊦
・六年五十メートルバタフライ
男①星野一㊢②長島一也㊦
女①坂牧貴子㊥②金内里美㊥
・六年百メートル背泳ぎ
男①高野俊之㊢②坂牧直也㊥
女①酒井香代子㊦②佐藤恵美㊥
・六年百メートル平泳ぎ
男①小川政行㊥②星野司㊢
女①星野久美子㊢小川淳子㊥
・五年七十五メートル個人メドレー
男①小川和広㊣②星野隆㊢
女①坂牧美津子㊥②坂牧法子㊥
・五年五十メートル自由形
男①小川博之㊥②浅染司㊣
女①坂牧香織㊥②佐藤恵理子㊥
・五年二十五メートルバタフライ
男①松井和之㊣②小川博之㊥
女①坂牧法子㊥②草間和代㊥
・五年五十メートル背泳ぎ
男①長谷川隆㊥②星野豊㊢
女①坂牧香織㊥②佐藤恵理子㊥
・五年五十メートル平泳ぎ
男①小川和広㊣②星野孝志㊢
女①坂牧美津子㊥②藤井菊江㊤
・四年二十五メートル自由形
男①樺沢洋平㊥②樺沢安利㊥
女①小川優美㊥②金内智美㊥

「小さな闘牛士」発刊

岩崎京子さん

闘牛博士として有名な、虫亀の松田淳君（文平さん方、山古志中三年）がモデルの単行本「小さな闘牛士」（旺文社）が発刊されました。

これは作家の岩崎京子さん（東京都）が、子供と牛の愛情物語として、小学校中高学年向きに書かれた本です。岩崎さんは二十年前にも「鯉のいる村」という本で山古志村のことを書かれ、野間児童文学賞・芸術選奨文部大臣賞を受賞しておられます。また、この本のさし絵は田代三善さん（東京都、日本美術家連盟、児童出版美術家連盟会員）によるものです。

竹沢みこし会「自治宝くじ助成事業」により神輿二基購入

昨年までお盆の十六日に、竹沢の下村と二丁野が地区をあげて行っていた「白髭神社こども神輿」。今年からは正式な神輿を二基購入し（昨年まではたるみこし）名前も「竹沢みこし会」と改め新しいお祭りとしてスタートしました。

この神輿（うちわ、提灯等の付属品を含む）は、（財）自治総合センターが宝くじ普及広報のために行っている「自治宝くじ助成事業」に採択され、二百万円の補助を受けて購入したものです。（写真参照）

日々雑感

村長 酒井省吾

萩

このところ山の緑のかげりがめっきり深く見える。おおぜいの帰省客をむかえて、賑やかで楽しかったお盆も過ぎもとの静けさに戻った。夏休みも終り日焼けした元気な子供達。水の事故や交通事故もなく、みんな揃って登校出来たことが何より。日増しに色づく稲の穂波に月日の流れの早さを思う此の頃である。

今年三月始め頃の新聞に「エルニーニョ発生」と、気象に関する記事が載った。「数年に一度春ごろから翌年にかけて、大平洋赤道海域の海水面の温度が上がる現象で、大気の動きを通して遠い国の天候にも影響を与える世界的異常気象の原因とも言われていて、日本では此の年冷夏になりがちで七月や九月を中心に気温の低い傾向が統計上にも現われている。」とあった。そのせいかどうか、今年これまでの天候は尋常でなかった。雪が少いのは良いとして、六月始めに真夏のような暑さが来たかと思うと初春のような気候が続いたり、入梅になっても雨はなく、土用に入ってからの雨は止むことを知らず、梅雨明けが立秋となり、其の後なお雨近い。九月は刈入れの月、良い天候であってほしいとねがわずにはいられない。

人間はいつの世でも美しいものに憧れ、その美しさに価値を見出してゆく。美しい石を磨いて宝石と呼ぶ。私たちの祖先は美しい鯉を育てて泳ぐ宝石とした。

今から六十数年前の大正十三年九月、山古志郷を訪れた、詩堂尾崎行雄先生は、帰途の馬上肩にこぼれる萩の花、山の斜面を覆う萩に感じて詠まれたと聞く。

鯉の色たたかう牛の技よりも
われはめでけり虫亀の萩

と。山古志の自然の中に、色鯉や牛の角突きのほかに、こんなに素晴らしい宝があるではないか、と論されている。

萩が「山古志村の花」として制定されたのが昨年の九月、磨けば光る宝を、カヤや雑草に埋れさせることなく、みんなが手を貸してやったり、植えたり育てたりして、私たちも祖先に負けないような宝を、萩の名所でも遺そうではないか。